



TITLE:

肉芽腫及ビ葦状肉芽腫(臨床講義)

AUTHOR(S):

鳥瀧, 隆三; 神部, 信雄

CITATION:

鳥瀧, 隆三 ...[et al]. 肉芽腫及ビ葦状肉芽腫(臨床講義). 日本外科宝函
1931, 8(2): 306-310

ISSUE DATE:

1931-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/201661>

RIGHT:

肉芽腫及ビ蕈狀肉芽腫 (Granuloma s. Mykosis fungoides.)

(臨床講義)

昭和5年12月8日

教授 醫學博士 鳥 潟 隆 三 講 述

助手 醫學士 神 部 信 雄 筆 記

患者。森○正○。21歳男。豆腐商。昭和5年11月28日入院。

遺傳的關係及既往症ニ特ニ述ブベキモノナシ。

現在症。1) 6年前同日ニ2回右側前膊部ヲ強打セルニ、該部ハ廣汎性且疼痛性ニ腫脹シ、2—3日ニシテ緩解セルモ、該部ニ無痛性ノ硬結ヲ殘セリ。然ルニ該硬結ハ3年前ニ至リ増大スルト共ニ疼痛ヲ訴ヘ、同側ノ III, IV, V. 指ノ運動障害アリ。依テ硬結ノ剔出手術ヲ受クル事2回ニ及ベルモ3度再發シ、本年3月來該部ニ潰瘍ヲ生ゼリ。

2) 本年5月頭部ニ無痛性ノ腫瘍ヲ生ジ、剔出手術ヲ受ケタルモ再發セリ。右側上膊部ニモ數ヶ月前ヨリ同様ナル腫瘍ヲ生ゼリ。

3) 本年8月10日、10月3日、11月15日ノ3回一亘リ突發的ニ體温上昇、呼吸困難咳嗽及血痰アリ各2—3日ニシテ症狀ハ去レリ。

食慾、便通、睡眠ニ變化ナシ。(以上受持醫員朗讀)

教授「只今御聞ニナツタ様ニ、打撲ヲ受ケタ局所ガ直チニ膨レ上ツタノハ、一體ドウ云フ事ガ起ツタノデショウ。」

學生「……………」

教授「外傷ノ爲ニ皮下出血ヲ起シテ血腫ヲ作ツタ場合ト、モーツハ組織ガ挫碎サレテ、血行障害ヲ起シ、滲出液ヲ生ズル場合、即チ外傷性浮腫ヲ生ズル場合トノニツガ考ヘラレノデアリマス。此ノ場合ハドチラデス。」

學生「血腫デス。」

教授「ソウデス。本例デハ皮下出血ヲ起シタト考フベキモノデ、其ノ一部ガ硬結トシテ殘留シタモノデス。單ナル外傷性浮腫ハ後ニ全く消失スベキ筈デアリマス。コレガ或時カラ腫瘤様トナリ始メ、今日迄ニ2回モ剔出シテ貰ツタガ、又々再發ヲ繰返シタト云フ事ハ……」

學生「悪性ノモノデアリマス。」

教授「ソウデス。bösaartiges Zeichen (悪性ノ兆候) デス。頭部ニモ、上膊部ニモ同様ナ腫瘍ヲ生ジタ事ハソレハ……」

學生「轉移デス。」

教授「ソレデハ配下淋巴腺ハドウデスカ。」

學生「觸レマセン。」

教授「此患者デハ配下淋巴腺ニハ轉移ヲ認メマセン。デ其代リニ淋巴流域淋巴系ト何等ノ關係ノ無キ顚顚部皮下ニ腫瘍發生ヲ認メマス。此ノ様ナ轉移ノ仕方ハ何デアリマスカ。」

學生「血行ニ依ル轉移デアリマス。」

教授「左様デス。ソレデ血行ニヨル轉移ヲ營ム惡性腫瘍ハ多クノ場合何デアリマスカ。」

學生「肉腫デス。」

教授「此ノ患者デハ臨床上先ヅ第一ニ惡性腫瘍デアルコト、第二ニ其ノ惡性腫瘍ガ癌腫デハナクシテ肉腫デアルコトガ明デアリマス。此ノ様ナ轉移経路ノ差デ肉腫ノ場合ハ小循環系ノ肺ニ轉移ガ起リ易イノデアリマス。癌腫デハ配下淋巴腺ニ次デハ血行カラ骨ニ轉移ガ來ルコトモアルノデアリマス。Karzinomalter (癌腫年齢)ニ達シタ人が、一寸シタ外傷デ骨折ヲ起シタトスレバ、先ヅ胃、子宮等、癌腫ノ好發部位ヲ検査シテ、ソレガ轉移ニヨル自然骨折デアルヤ否ヤヲ考慮スベキデアリマス。カ、ル譯デアリマスカラ、本例ニ於キマシテハ、同時ニ肺ヲ充分ニ診ラベル必要ガアリマス。マタ病歴ノ中ニモ呼吸困難ヤ血痰ナドヲ起シタコトモアリマス。」

「レントゲン」寫眞ヲ見ル迄モナク、臨床的兆候トシテ重要ナモノハ、咯血デアリマス。肉腫ハ非常ニ血液ニ富デ居リマシテ、試験穿刺ヲ致シマスト、鮮血ヲ得ルノデアリマス。ソレデ肺ニ於ケル轉移モ非常ニ出血シ易イノデアリマス。ソレデ何等他ノ原因ナク、惡性腫瘍患者ガ突然咯血スレバ、ソレハ肺轉移ヲ示スモノデアリマス。即本例ニ見ルガ如クデアリマス。呼吸困難ハ此際必ズシモ必要デハアリマセン。多クハ咯血ニヨツテ起ルノデアリマス。尙「レントゲン」寫眞ヲ見マシテモ御覽ノ如ク明ニ陰影ヲ認メルノデアリマス。」

(「レントゲン」寫眞廻覽。)

教授「肉腫ハ結締織性細胞カラ發生致シマス。先ヅ第一ニ骨髓カラ發生シマスガ、此ノ場合ニハ成長スルト共一、コレヲ包ム骨質ハ紙様菲薄トナツテ紡錘狀ヲ呈シ、爲ニ觸診上 Pergamentknittern (羊皮紙様呻吟音)ヲ感ズルコトガアリマス。或ル場合ニハ肉腫細胞ガ軟化消失シテ骨囊腫様トナルコトガアリマス。即チ zystisches myelogenes Sarkom (囊腫狀骨髓性肉腫)デアリマス。

第二ニ骨膜カラ發生スル場合ニハ骨ニハ餘リ變化ヲ及ボシマセンガ腫瘍中ニ樹枝狀ノ骨質、即チ Knochenbalken (骨梁)ヲ生ジマス。コレハ「レントゲン」寫眞デ直チニ認メルコトガ出來マスガ、コノ様ナ肉腫ヲ periostales Sarkom (骨膜性肉腫)ト申シマス。

第三ニ筋肉間ノ結締織又ハ筋膜カラ生ズル場合ニハ腫瘍間ニハ筋纖維ガ介在シテ居リマ

シテ骨トハ何等關係ガナク、Unterlage (下床) カラヨク可動性ノ、限局性ノ、彈性硬乃至彈性軟ノ腫瘍ヲ生ジ、成長ノ盛ナルモノニ於テハ局所ノ溫度上昇ヲ伴フノデアリマス。本例ニ於キマシテハ頭部ノモノ、上膊部ノモノ共ニ剔出検査致シマシタガ骨部トハ何等關係ガアリマセンデシタ。コ、ニ其ノ切片標本ガアリマス。檢鏡上ノ所見ハ。」

學生「紡錘狀細胞肉腫デス。」

教授「全く其ノ通り。一見シテ明デアリマシテ細胞束ガ種々ノ方向ニ切斷サレテ居ル爲或ル切口デハ圓形ニ見エマスガ、皆紡錘狀細胞ヨリ成立シテ居ルノデアリマス。骨髓及骨膜ヨリ發生シタ肉腫ハ比較的良性デアリマスガ、他ノ結締組織例ヘバ、筋膜カラ發生シタモノハ惡性デアリマシテ、肉腫中デモ惡性ナ紡錘狀細胞肉腫ガ多イノデアリマス。青柳講師ノ研究ニヨリマスト、此ノ紡錘狀細胞肉腫ハ「イムベデン」現象ヲ示シマスノデ、其ノ原因ハ一種ノ微生物デナケレバナラスト言フコトニ歸着シマシタ。」

教授「サテ此ノ患者ノ右側前腰部ノ潰瘍狀ヲ呈シタ部ヲ御覽ナサイ。」

學生「右側前膊部全體特ニ伸展側ガ一般ニ膨隆シテ居リマシテ、コ、ニ不正形ノ潰瘍ガアリマス。」

教授「潰瘍面ハ所々汚穢ナ付着物ヲ有スル病的肉芽デ被ハレテ居リマシテ周邊ハ……aufgeworfen (舉上性) デアリマス。今度ハ次ノ患者ヲ診マシヨウ。」

患者。○水○。24歳男。學生。昭和5年12月2日入院。

遺傳的關係及既往症ニ述ブルベキモノナク、花柳病ニ罹リタルコトナシ。

現在症。本年8月左側中指ニ小創ヲ受ケシ後同側腋窩ニ少シク疼痛アリキ。然ルニ1ヶ月後其側ノ腋窩ハ疼痛性ニ腫脹シ、3—4週ニ及ベリ。10月10日以來再ビ同所ガ同様ニ發赤腫脹シ疼痛アリ。局所ハ次第ニ球狀ニ突出シ來ル。食欲、便通、睡眠ニ異狀ナシ。(以上受持醫員朗讀。)

教授「本例ハ前例ト類似シテ居リマシテ、甚ダ誤リ易イモノデアリマス。左側腋窩ニ一ツノ腫瘍ガアツテ、皮膚表面ヨリ半球上ニ突出シテ居リ。其表面ハ比較的平滑デ、erodiert (糜爛性) デアリ、出血性デアリマス。中央ガ溝狀ニ凹ミ、兩半球ニ分タレタ如ク見エルノハ嘗テ Thermokauter 燒灼器デ腫瘍ヲ切開シタ爲デアリマス。觸診シマスト。」

學生「彈性軟デアリマス。」

教授「一般ニ彈性軟デアリマシテ、周圍組織特ニ下床ヨリハ何レノ方向ニモ相當ニ可動性デアリ、多少壓縮性ガアリマス。即チ視診デ認メマシタ様ニ、出血シ易イ、血管ニ富ンタ腫瘍ノ様デアリマス。即チ一寸見ルト肉腫ニ酷似シテ居リマス。ソレデ試ニ試験穿刺ヲ行ヒマスト。」

(受持醫員 ブラバーツ注射器ヲ以テ試験穿刺ヲ行フ、何物モ出デズ。)

教授「何も出マセン。モシ血液が出マスト、ソレハ何ヲ疑フベキデスカ。」

學生「肉腫デス。」

教授「ソウデス。先ニ申シタ通りニ肉腫ヲ穿刺シマスト多クハ鮮血ヲ得ルノデアリマス。扱、コ、ニ在リマスノハ、一ツノ實質性ノ腫瘍デアリマシテ急ニ成長シタ悪性ノ肉腫ニ似テ居ルガ併シ穿刺致シマシテモ何物モ出ナイノデアリマス。而モ表面ニ向ツテ半球状ニ甚シク増生突出シ、皮膚ヲ糜爛セシメテ居ルノデアリマス。——コレハ一體何物デアリマシヨウカ。」

學生「……………」

教授「受傷後1ヶ月デ漸ク附屬淋巴腺ニ疼痛ガ來タト云フノデアリマシテ、慢性炎症デアリマス。慢性炎症ノ場合ニ其ノ肉芽ガカクノ如ク、腫瘍状ヲ呈スルモノヲ Granuloma fungoides(葦状肉芽腫)ト申シマス。肉芽腫ハ病原菌ニヨツテ起ツタ肉芽ノ proliferierende Entzündung(増殖性炎症)デアリマシテ、腫瘍状ニ隆起シ圓形細胞、肥胖細胞等ヲ認メマス。通常ノ創面ノ肉芽ニ於キマシテモ、無闇ニ刺戟劑ヲ使用致シマスト強ク増生スルコトガアリマス。コレヲ Caro luxurians(贅肉芽)ト申シマス。



肉芽腫ニ於キマシテハ病原菌ノ刺戟ニヨリマシテ増殖ノ様子ガ、ソレゾレ異ツテ居ルノデアリマシテ、通常見マスノハ、結核、黴毒、癩病、放線状菌病、Rhinosklerom(鼻硬化症)、Rotz(馬鼻疽)等デアリマス。然シコレ等ノ外ニ尙 dolente Bubo(疼痛性横痃)ノ場合ニモ肉芽腫ヲ見マス。コノ場合ハ Dukrey 氏ノ Streptobacillen(連鎖状菌)ニヨルノデアリマス。又他ノ球菌ニヨツテ起ル場合ガアリマシテ、本例ニ於テハ病原菌ガ果シテ何デアルカノ點ハ檢索中デアリマスガ、既ニ一種ノ「グラム」陽性雙球菌ヲ檢出シテ居ルノデアリマス。

コ、ニ本例ノ肉芽腫ノ一部ノ切片標

本ガアリマスガ、コレヲ見マスト、結締織性間質ノ間ニ gemischte Zellen (種々ノ細胞)ガ
排列シテ居リマシテ、通常ノ肉芽組織トハ大ニ異ツテ居リマシテ hyperplastische Lympha-
denitis (増殖性淋巴腺炎)ノ状態ニ似テ居ルノデアリマス。」

教授「此ノ腫瘍ガ臨床上肉腫ニ酷似シテ居ルガ併シ肉腫デハナイト言フコトハ同側腋窩
ニ類似ノ淋巴腺腫脹ノアルノデモ明白デアリマス、肉腫ハ前ニ述ベタ様ニ配下淋巴腺ニ轉
位ヲ起サヌガ普通デアリマス。(「メラノ肉腫」ハ肉腫中ノ最悪性ノモノデ之ダケハ例外デ
隨分早期ニ配下淋巴腺ニ轉移ヲ起シマス。)

此ノ場合デハ此ノ2人ノ患部ヲ比較シテ眞ノ肉腫トソシテソレニ似テ非ナルモノ(蕈狀肉
芽腫=Granuloma s. Mykosis fungoides)トヲ鑑別スルコトヲ知ツテ頂キタイノデアリマ
ス。」(終リ)